

FMアップルウェーブ 第53回番組審議会

開催日時	平成20年12月12日(金) 18:00～
開催場所	佐和家(弘前市本町)
出席委員	委員長 佐藤 圭一郎、 副委員長 工藤 茂起 委員 佐藤 浩之、 鳴海 清彦、 吉澤 葉子、 相内 英之、 高村 智子(新任)
会社側出席者	代表取締役社長 清藤 哲夫、 常務取締役 一戸 勝美 取締役 田中 尊、 取締役 波多野 厚緑、 取締役 成田 尚三 放送部統括マネージャー 玉田 雅規 放送部チーフ 稲葉 みどり
議題	(1)番組に対する意見要望 (2)次回開催日について 平成21年2月21日を予定 *変更の場合は前もって連絡
議事の概要	<p>○各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。</p> <p>1)課題番組『ツガル弁ニュース』 毎週土曜 午前9:00～ ” 『りんごだより～りんご生産情報～』 月曜～木曜 午前10:00～10:05</p> <p>①『ツガル弁ニュース』はエンターティメント性をもっと追求していけばいいのではないかな。 ②『ツガル弁ニュース』はとても面白いと思った。若い人たちは方言を使わなくなっているので方言文化を残すためにもどんどん発信して欲しい。『りんごだより』は声が明るく、よく聴こえ、伝わった。生産者は作業しながら聴くので、はっきりした声、明るい声で伝えることが大事。 ③『ツガル弁ニュース』はツガル弁のアクセントが、我々が使うものとは違って違和感を覚える。ニュースではなく「○○の出来事」という括りで取上げた方が、違和感がないのではないかな。 ④『ツガル弁ニュース』は元気がよく明るくてとてもいいと思った。途中で入る合の手も津軽弁は喋り言葉がとても早いので一息ほっとつける役割を十分に果たしていると思う。 『りんごだより』は声のトーンが低い。作業しながらだと聴きづらいのではないかな。 ⑤ツガル弁は口語体。しゃべる相手がいてこそ感情が伝わるし面白くも聴こえるのではないかな。 『りんごだより』に関してはその情報がいつのものであるのかを知りたい。 ⑥『ツガル弁ニュース』はそもそも津軽弁の定義が分からないので扱いが難しい。“ツガル標準語”でしかないということは言える。『りんごだより』は県から提供される情報に地域差があるということをしっかり理解してやってくれば問題ない。アレンジできればよい。 ⑦『ツガル弁ニュース』は津軽弁とは思えなかった。よって記憶には残らない。『りんごだより』は最後に生産者を気遣うコメントがあったがコーナーの締めくりとしても温かみがあってよい。</p> <p>2)その他の意見・要望 『ツガル弁ニュース』については共通語を話せない人に津軽弁ニュースを読ませても面白いのではないかな。との意見と、一人でニュースを読むのではなく相対して津軽弁で聞かせる構成であった方が津軽弁は生きると思うとの意見が出された。</p> <p>【審議機関の答申または改善】 『りんごだより』での要望に即応。 情報提供期間の起点となる日付を情報提供元の発信日とする。</p> <p>○審議機関の答申または改善意見の公表</p> <p>1)議事録を本社に配備し、社内各部署に配布 2)FMアップルウェーブのホームページに掲載</p>